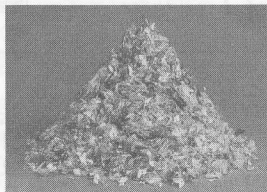


循環型社会形成をめざしグリーン購入向け新商品開発

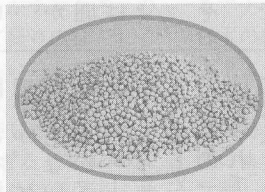
名古屋市のプラスチックゴミをリサイクル・製品化

—Parking Stop & Parking Stop Sheet—

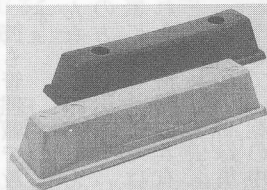
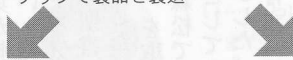
名古屋市の分別収集される容器包装廃棄物の内よりPETボトルを除いた『その他プラスチック製容器包装』のいわゆる[廃プラ]から、ペレット化したプラスチック再生原料を生成し、最新鋭の大型リサイクル原料用成型機で製造された製品を開発。



- プラスチックゴミを洗浄・破碎して乾燥：フレック化



- ペレット化された再生プラスチックで製品を製造



パーキングストップ：固定式



パーキングストップシート：移動式

環境に優しい

手軽に移動

そして、当社のリサイクル第1号製品として、名古屋のゴミを100%再生した駐車場用車止材「パーキングストップ：固定式」と工事不要で手軽に移動できる「パーキングストップシート：移動式」の発売を開始いたしました。

また、**発売記念キャンペーンを実施中** (4/1～5/31)

※ 期間中は破格の特別販売価格で商品を提供いたしております。(本社1階ホールで現品展示中)

● 詳細・お問い合わせは 環境問題対応室 井上 (inoue@morimatsu.net) まで



会長 森 信之

「再生品は森松の得意商品」
森松が得意としている商品分野の一つに再生品があります。そして最近地球環境問題が重要なテーマです。水、空気、食品の汚染など身近な所で大きな問題が起きています。
皆さんの家庭でもゴミの分別を実行してらっしゃると思いますが、名古屋市はプラスチックの包装材や容器は「PETボトル」と「その他プラスチックゴミ」の2種類に分別ごみ収集が行なわれております。
回収された「その他プラスチックゴミ」から新しい再生品の製品が生まれました。駐車場で使用される車止めです、商品名を「パーキングストップ」という名前です。特販部井上さん、企画営業部安井さんが担当し、今年度販売目標一千万(1千5百万円)に向けて四月よりスタートしました。全社員が一丸となって応援しましょう。
森松は再生品を取り扱って45年の歴史があります。2002年現代は地球温暖化・エネルギー危機が叫ばれリサイクル商品に世界中の眼が向けられている事は森松にとって本当にラッキーだと思います。

パーキングストップ販売をきっかけに、リサイクル商品の展開を拡大し今の暗いムードを吹っ飛ばして参ります。皆さんの家庭にも是非一台分お買い上げ、ご紹介よろしくお願致します。

森松 USA

『チップと会社を考える』

チップはレストランにて食事をした際、その他様々な場面で払います。その金額は食事の場合大体料理の値段の15%からです。カードで支払う際もチップの記入欄にチップの金額、合計欄に総計の金額を客側で記入します。つまり良いサービスを受けた、と思えば何%でも渡します。支払われたチップは、ウェイター・ウェイトレスが70%、入り口の案内係が15%、皿片付け、洗い係15%が一般的。また先日、日本料理屋でアルバイトをしている人に話を聞くと、チップの総計をウェイター、ウェイトレスの総数で割り、それをさらに各自に決められたパーセンテージで受け取る、ということでした。(配分された100%80%受け取る)

しかし、彼が言うには「バイト同士は均一85%しか受け取っていない」のだそうです。他でも同じ話が聞かれましたが、アメリカとはいえ日系のレストランは基本給が給料の大部分を占めているということでしょう。もし料理の間違いやサービスに不満があればチップ無しという選択もできますが、その際には恐らくその理由を問われるかもしれません。

アジア圏ではチップの習慣が無く、日本では均一で支払うはずのサービス料がアメリカでは客側に支払う割合の決定権が有るということで、これは合理的なシステムだと思えます。各々の客に適したサービスを行うことで高額なチップ(高い評価)を得ることが可能です。或いは高い評価がチップとして表れる、ということはマニュアルの範囲には無い工夫、自分なりの接客方法が出来るでしょう。評価される事によって仕事、業績の改善が生まれます。また会社は、所属する社会から利益を出すことによってその評価なるものを受けていると思います。



今、森松の存在意義を確認し、より向上させ、また新たに創造していくことが出来るか、非常に楽しみにしています。

社長 森 直樹

『大都会東京でも「モーリン語録」』

先日東京であるお客様と会食しました。8年間、相変わらずかわいがって頂き今日に至っております。50名近い部下を持たれており、常に高い目標に向かって仕事を楽しんでみえます。その方の後姿・考え方・行動力にはいつも感銘を受けております。

「更なる飛躍をして欲しい部下がいる。今、彼を鍛え抜いているところである…」との話を聞きました。彼も管理職で数十名の部下がいるとの事です。

「こんな事がありこんな風に指導した…」と話されました。その方の話の節々には、聞きなれた言葉が頻繁に出てくるのではないですか。忙しい・疲れた・情報の共有・先が読めない・やる気だけは教えられない。正に森松マンの聖書「モーリン語録集」のオンパレードでした。そこで、靴の中から「モーリン語録」を取り出してその方に差し上げました。森松では、この言葉を唱和して教育の一環としている事を話したところ感動されていきました。森松流では、「教育」ではなく「共育」「新年会」ではなく「信念会」。優先順位とは…。耳に蛸が出来るくらい森会長からいつも聞かされています。あたかも自論の様にスラスラと話す自分が怖かったです。

「この言葉もよく使う・この言葉は好きです」と信者?の様に真剣に読まれていました。上司の悪口を酒の肴にするのではなく、「部下とか 教育とか…」を肴にして飲める年齢になったのかな。後日、「モーリン語録」は部下の方へプレゼントされた様です。言うまでもなく



ご丁寧な両者からお礼の電話・メールをきっちり頂戴しました。流石ですね。

伊東 郁二 (プロジェクト⑧)

『春の珍事』

冬も終わり春になりスポーツの季節となりました。プロ野球が開幕し今年は何んと言っても星野阪神タイガースでしょう。春の珍事と言うと阪神ファンの方には叱られますが、連勝街道まっしぐらでいつ負けるのかなと思うほどの強さです。こんな姿を誰が予想したでしょうか、昨年、一昨年と低迷し、いきなりサッチャー事件で責任を取り辞任に追い込まれた野村監督から星野監督へと代わり、戦力の補強もありましたが、野村監督時代には非常に暗いイメージしか感じなかったチームがこんなに明るく生き生きしたチームになるとは何があつたのかなと思うほどです。

星野監督が最初にやつた事はまず、大きな声を出す事だとテレビのスポーツ番組で見ました。これだけではないでしょうが、チームに勝つ事で一体感が生まれてきた様にも感じます。細かい戦術を駆使する野村野球が阪神には合わなかったのでしょうか。会社もチームと考えると巨人のようにお金でいい選手ばかり集めて汚いとか言う人もいますが、いい選手を集めても毎年優勝できるわけではありません。巨人の川合選手はバントだけの為に代打に出てきて意図も簡単に成功させますがこれは、毎日毎日バントの練習をコツコツやっているからです。ファンからもすごい声援を送られると強いです。また、中日ファンからすれば幽がゆい気持ちかもしれません。裏切り物と陰口を言う人も中には居るでしょうが、これもミスター中日星野であるがゆえでしょうか。今年の秋にはミスタータイガース星野になっているかもしれませんね。

何はともあれプロ野球が面白くなる事は楽しい事です。ワールドカップに負けるなプロ野球。でも、サッカーも面白いからビデオ買ってこよう。



吉岡 孝記 (ドリーム7)

読後感

「ナマケモノはどこへ行く？」

著者：アウグスト本田

ナマケモノ（霊長類日ヒト科のナマケモノでない）一日大半を木にぶら下って過ごす野生動物で正式には哺乳綱史前猿ナマケモノ科に属する。ナマケモノのそのものである。

ナマケモノは、一日の睡眠が20時間～22時間も、ほとんど何もせず寝てばかり。交尾する意欲を失って、独身のまま一生を終えるオスや子育てを放棄するメスも増えている。今の人間社会と同じようだ。森松のロビーに描かれている、水鳥を思い出す。3羽の水鳥がいて、2羽は自分で飛び立ち餌を探すが1羽は、与えられる餌を食べるだけ、やがて飛ぶのを忘れすぎた水鳥は、餌を与える者がいなくなった時には1羽は滅びる。変化する自然界の中でナマケモノ達がどのように生きていくかナマケモノの長老が最後に残した言葉をめぐって繰り広げられる内容である。新しい発想を持ち新しいことに挑戦するナマケモノと自然に逆らわずナマケモノの習性で生きるナマケモノと、一日一日を楽しく生きるナマケモノと3グループ別れる。生きるスタイルは、千差万別であっても大切なのは、自分の頭で考えること、そして自分の意志で選択することの大切さを、著者は言っている。

これからの自分自身の生き方に大変意味深いものを感じる。

横山 敏秋 (ユニティー)



「中村修二の反乱」

著者：畠山けんじ

世界で初めて、強い光を放つ高輝度青色発光ダイオードの実用化に成功し、ノーベル賞にもっとも近い男といわれている中村修二。彼の日亜化学工業(株)時代に青色発光ダイオードを開発から完成へ様々な困難や壁を乗り越えた道のり。

会社命令に逆らっても、常に自分で考えて、自

分で正しいと思うことをとことんやり通す。そんな彼の信念と行動には勇気を与えられた感じでした。また、その成功への原動力となった影の協力者とも言える、日亜化学の創業者、小川氏の「中村は偉い。ちゃんと物を作れる人間だ。」の言葉は印象的で「個人の能力」を見極められる才覚があったのでしょうか。

この本のタイトルになっている「反乱」とは、中村修二は、日本の教育制度が個人の能力をダメにすると、訴えている感じでした。面白い例で、大学受験をチョー難題なクイズ問題を覚えるだけ…と。小さい頃は大きな夢があるが、次第に大学受験が夢になり、受かった瞬間に夢がなくなる。有名大学から一流企業に行くことがメインストリームで、永遠のサラリーマンを大量に作っており「日本の教育＝サラリーマン大量養成洗脳教育」と言っています。まるでナイキ（サッカー）のCMのような物でしょう。日本の教育制度は製造業中心の背景にあり、一人の天才よりも百人の秀才がいた方が安定した良品が大量生産できるでしょう。しかし、その時代も、現在では海外生産品の進出により国内の空洞化が物語っています。みんな均一であれば、独創性のある仕事は難しいことになりました。新しいものを生む人間を育てようとしないうちに未来も可能性もあるわけない…。という事です。

また、彼は「4、5年おきに会社を辞めよう」と言っております。同じ会社に20年、30年やるのは自分の能力を劣化させ、ダメになってしまう。新しい場所でゼロから始め、自分を磨く努力、売る努力をしなければならぬから能力の向上につながる。今の日本経済は、会社も個人も終身雇用に頼り過ぎた結果なのかも知れません。彼の訴えは、苦難による偉大なことを成し遂げたこともあり、妙に説得力があるように感じました。「教育」と「会社で働く」という価値を色々と考えさせられたように思います。

安井 浩二 (プロジェクト®)



四月のはじめに空き巣に遭いました。よく聞くピッキングです。(錠前をこじ開けることなく特殊工具を用いた破錠)一度帰宅して近所の実家に夕食を食べに行っている間に時間にして一時間位の間に空き巣に入られました。部屋に入って見ると下駄箱に入っていた靴が散乱、奥に行くとき食器棚の引き出しに入っていた物が散乱、押し入れに入っていた物も出されクローゼットも開けられていました。被害は、五百円玉で約五万円入った貯金箱と、同じく五万円玉で約十五万円入った貯金箱と給料の残り十万円、計約七十五万円盗まれ直ぐに警察に電話した所五分もたたない内に隣の部屋からやって来ました。警察が調べた所入ったのは二人組みで靴の足跡が二種類フロアリングに付いていました。その日は同じマンションで四件他に南区内のマンション数件空き巣の被害が遭ったと警察の方が言っていました。4/17ラジオのニュースで名古屋市内のマンションのニュースで名古屋市内のマンションが荒らしが捕まったと聞きました。もし犯人が盗まれたお金は戻ってくるのかな：みなさん今一度自宅の錠を見て下さい。ピッキングされ易い様な錠なら取り替えましょう。

大橋 康成 (ユニティー)

『空き巣(ピッキング)』

四月のはじめに空き巣に遭いました。よく聞くピッキングです。(錠前をこじ開けることなく特殊工具を用いた破錠)一度帰宅して近所の実家に夕食を食べに行っている間に時間にして一時間位の間に空き巣に入られました。部屋に入って見ると下駄箱に入っていた靴が散乱、奥に行くとき食器棚の引き出しに入っていた物が散乱、押し入れに入っていた物も出されクローゼットも開けられていました。被害は、五百円玉で約五万円入った貯金箱と、同じく五万円玉で約十五万円入った貯金箱と給料の残り十万円、計約七十五万円盗まれ直ぐに警察に電話した所五分もたたない内に隣の部屋からやって来ました。警察が調べた所入ったのは二人組みで靴の足跡が二種類フロアリングに付いていました。その日は同じマンションで四件他に南区内のマンション数件空き巣の被害が遭ったと警察の方が言っていました。4/17ラジオのニュースで名古屋市内のマンションのニュースで名古屋市内のマンションが荒らしが捕まったと聞きました。もし犯人が盗まれたお金は戻ってくるのかな：みなさん今一度自宅の錠を見て下さい。ピッキングされ易い様な錠なら取り替えましょう。

2002年

5月の予定



2日(木) 大和田さん誕生日

3日(金) 憲法記念日

4日(土) 国民の休日

5日(日) こどもの日

6日(月) 振替休日

9日(木) 中国情報会

18時00分～21時00分

11日(土) 第二土曜休み

松井えり子さん誕生日

14日(火) 法人会総支部会

14時00分～16時30分

18日(土) 第三土曜休み

石垣さん誕生日

22日(水) 誕生会

24日(金) 経営会議 7時30分～

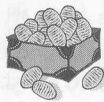
営業会議 15時10分～

25日(土) 編集会議 17時00分～

生産会議 18時00分～

伊東雅典さん誕生日

新企画



あなたのお宝拝見



- ・品名: スイコピッチサイン入り帽子
- ・入手日: 2001/5月
- ・自己評価額: 5,000円

妹尾 峰男
(ドリーム7)

去年5月の、社員旅行でした。前日試合を終えたばかりの、サッカー界のスーパースター、スイコピッチが、機内でなんと、私の真後ろの席に。奥さんと一緒に。

周りは森松の社員が殆どだったので、直ぐに情報が伝わり機内は騒然としましたが、それを「シー」と制したスーパースターは、一転リラックスモード。私は逆にリラックス出来ず、後ろが気になってしょうがなく、隣に座っていた安井さんとサインをもらうタイミングをずーっと図ってました。

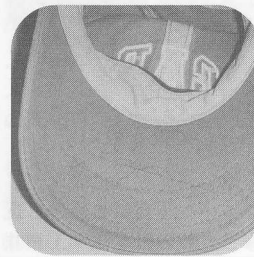
気分良くサインをもらうには、離陸後飛行が安定してから…スターは寝入ってしまいました。機

内食の時ががいいか…奥さんと楽しく話している中を割り込めず。とうとう着陸が近づいて来ました。前日の試合は、自らのゴールで勝利していた

為、機内のスポーツ新聞を差し出し、やっとの思いで安井さんの分GET!

自分の分は帽子へと思い、差し出すと…「2回目じゃないか!」と怒られた気がしたが、言葉が判らないフリ

をしてどうにかGET欲が出て、奥さんにも貰ったら、世の中に2つとないものが出て来ると考えた私は、奥さんにも差し出して。しっかり笑われ、夫婦サインは断念することに…。しかし、自慢の一品となりました。



|| 編集後記 ||

「半田祭り」

来たる10月5・6日に半田祭りが開催されます。これは5年に一度半田市内の山車計31台が勢揃い(台数で日本一だそうです)するもので、山車が一列に並びさまは圧巻の一言です。他にも前回のイベントでは中島誠之助のお宝鑑定・オユニナのコンサートやら私の可愛い高校の後輩にトる和太鼓演奏諸々盛り沢山あり、今年も色々企画されているようです。

半田と言うとあまりパッとしないと思われがちですが山車に代表されますように歴史と文化が濃い町です。それに2005年には常滑沖に中部国際空港が開港し、その中核都市としても発展しています。宣伝になりましたが、私が愛している町半田に皆さん「ささよいやしや(半田音頭)のサビ)」



谷澤 享
(レインボー)